



兵庫縣大阪府及神奈川縣ニ於ケル
商慣習及商品賣買ノ手續

多岐文

1007





大正十一年四月贈
隈侯爵

兵庫縣大阪府及神奈川縣ニ於テ
商慣習及商品賣買ノ手續

(甲) 兵庫縣下ニ於テ輸出入貿易ニ從事スル者ノ間ニ
行ハル、商慣習及商品賣買ノ手續

目下兵庫縣殊ニ神戸港ニ於テ輸出入貿易ニ関スル商業
團體ノ種類及名稱ハ左ノ如シ

神戸市茶業組合

兵庫縣燐寸製造組合

神戸雜貨賣込商組合

神戸華道商組合

神戸輸出屏風製造業組合

兵庫縣輸出米穀商組合

神戸石炭商組合

神戸材木商組合

神戸市燐寸軸木商組合

兵庫縣蚕糸業組合

而シテ輸出入ノ上ニ於テ前記各團體ニ屬スル取扱商人ノ間ニ行ハル、手續ノ大要ヲ聞クニ左ノ如シ

一、製茶賣込ノ手續
ハ最初ニ見本茶ヲ以テ賣買價格及數量等ノ約定ヲ為シ荷物ヲ居留地商館ニ持込タル上見本合セト稱シ本品ノ検査ヲ為シ該見本ニ相當スルトキハ代價総額ノ八九歩ヲ受取り更ニ斤量及粉引ト稱シテ含有粉ノ多サヲ検査シ了リテ決算スルヲ例トス而シテ殘金ハ大抵一ヶ月ノ後ニ非サレハ支拂ヲ受クルヲ得ス

二、燐寸賣込ノ手續
本品ハ專ラ清國ニ輸出スルモ

(1)

ノナルヲ以テ内商製造家ハ見本ニ代價ヲ付セスレテ居留地清國商館ニ差出シ清商館之ヲ本國ニ送り本國商人ヨリ見本ニ對シテ買入代價ヲ定メ注文シ来ルヲ埃チ内商ニ注文ス内商注文ヲ受クルヤ直ニ製造ニ着手シ燐寸輸出検査所ニ於テ製品ノ検査ヲ受ケ然ル後之ヲ仲買商タル清商館ニ引渡し現品引替ニ代價ヲ受領スルモノトス但同時ニ賣價差因ニ付五厘ノ割ヲ以テ店入費トシ清商館ニ拂渡スヲ例トス

三、雜貨賣込ノ手續
雜貨ハ其種類夥多ナルヲ以テ賣込手續ニ於テモ各異同アリテ一様ナラスト雖モ之ヲ概言スレハ大抵内商ヨリ見本ヲ居留地商館ニ持参シ注文ヲ聞クノ例ニテ商館ハ稀ニ見込買ヲ為スモノアレトモ十中七八迄ハ本國ヨリ注文ヲ渡テ購入スルモノ、

如ク賣買実價ハ申込價格ヨリモ一二割方低減スルヲ例トセリ

居留地商館ノ雜貨ヲ購入スルニハ有合品ヲ買入ル、ト見本ニ依リテ注文スルトノ二様アリ注文品ハ必ス期日ヲ定メ約定スルノ例ニテ注文ヲ受ケタル内商ハ代價及日限ヲ記載シテ該商館ニ差出スモノアリ又ハ口約ニ止ルモノアリト雖モ凡テ期日内ニ調進スル能ハサルトキハ破談トナルオ若クハ別段ニ直引ヲ為サシムル等殆ト恒例ナルカ如シ而シテ外商館ニハ或ル商品ヲ注文スルニ際シ其實三百個ノ入用アルモノニシテ六百個ノ注文ヲ爲シ異日内商カ物品ヲ調進セルトキニ及ビ六百個ノ内ヨリ三百個ヲ撰擇抽良シ餘ハ不良品ナリトテ引取ラサルモアリ商品ヲ居留地商館ニ持込シタルトキハ先ツ

(2)

倉庫ニ積込ニ拜見ト称シテ物品ノ検査ヲ爲シ不都合ナキニ於テハ判取帳ニ捺印スルヲ例トス而シテ代價支拂ハ土曜水曜等ノ日ヲ以テスルアリ又ハ毎一周間若クハ毎月十五日、三十日等ヲ以テスルカ如ク各商館ノ便宜規定スル所ニ一任セリ又或ル商館ノ如キハ端錢切り棄ト称シ因以下ノ端錢ハ支拂セサルノ悪例アリシモ此一事ハ近時殆ト其跡ヲ絶フニ至レリト云フ

四、華進賣込ノ手續
ハ見本ヲ示シタル後凡ソ六ヶ月ヲ過キサレハ其注文ヲ爲スト否トヲ知ルヘカテス果シテ注文ヲ受ケタルトキハ期限及代價等ヲ約定シ互ニ証書ヲ交付スルアリ或ハ口頭契約ニ止ルテアリテ從來一定ノ例規ナシ代價ハ品物ノ受渡ヲ爲シタル即日若クハ翌日ニ於テ大抵止メ金ヲ收受シ後々精算勘定ヲ爲ス

ヲ例トス若シ物品見本ニ違ヒ或ハ期限ヲ誤ルカ如キコ
トアレハ種々ノ口実ヲ唱テ直引ヲ為サシメ殊ニ近來ニ
至テハ物品受渡ノ後乾燥費用ト稱シ違一本ニ付凡ツ金
三錢五厘ヲ徴スルノ新例ヲ生シタリト云フ
五、屏風賣込ノ順序ハ先ツ見本ヲ製シ價格ヲ定メ
之ヲ外商人ニ附托シ其注文ニ從ヒ期限ヲ定メ茲ニ始メ
テ製造ニ着手シ代價ハ現品ト共ニ之ヲ授受ス若シ現品
見本ニ違ヒ若クハ約定期限ヲ後ル、オ如キ些少ノ支障
アルトキハ忽チ一割又ハ二割ヲ引去ル以テ普通ノ習
慣ト為ス

六、米穀賣込ノ手續 是亦見本ニ依リテ約定スルコ
ト他ノ商品ニ異ルコトナリ商談全ク整ヒタルトキハ且
ニ約定書ヲ取換セ其見本品ノ如キモ亦且ニ之ヲ備ヘ置
3)

キ異日品質上紛議ヲ生シタルトキ其是非曲直ヲ判定ス
ルノ証據トス其荷造ヲ為スニ及シテハ双方立会ノ上見
本ヲ違ヘサルヲ検査ス故ニ袋詰ヲ為シタル以上ハ全ク
受渡ヲ完了シタルモノトシ該品ニ對スル一切ノ危険責
任ハ買請人ニ歸着シ賣主ハ直ニ代價ヲ收受スルモノト
ス尤モ請求金高ノ五厘ヲ以テ店口錢トシ商館ヘ拂渡ス
ヲ例トセリ

右ノ如ク袋詰ノヲ為シタル後買請人若シ引取ヲ為シ能
ハサル事故アルトキハ賣渡人ハ特ニ其商品ヲ預リ盜難
嵐害雨濕等損害ノ責ニ任ス其藏敷料保管料及保險料ノ
如キハ素ヨリ買受人ニ於テ負擔スルモノトス且賣渡人
ニ於テ特ニ其商品ヲ本船ヘ積載ノ取扱ヲ為スコトアル
モ一切ノ責任ハ凡テ買受人ノ負擔トス

此組合ハ未夕直轄ノ取扱ヲナサスト雖モ其受入ヲナス
ニ當テハ居留地外國商館ト約定ヲ結ビ見本ニ依テ代價
ヲ定メ並ニ物品請渡シ金錢仕拂等ノ如キハ賣込手續ト
大同小異ナリトス

七、石炭賣込ノ手續 是亦他ノ順序ト同シク見本ヲ
示シ價格ト量數トヲ定メ互ニ契約書ヲ交付シ或ハ口頭
契約ヲ結ビ現品受授ヲ了シ代價ヲ收受スルヲ以テ普通
ノ賣渡法トス或ハ又積載ノトキニ於テ代價ノ八歩ヲ領
シ他ノ二歩ハ指定港着ノ上支拂ノ約ヲ為スモノアリ或
ハ其賣買約定年月ヲ重ユルトキノ如キハ豫メ歩合ヲ定
ム相當ノ信認金ヲ我銀行へ納入スルノ約ヲ為スアリ或
ハ別ニ信認金ヲ積立置キ若シ約定ノ仕拂ヲ怠リタルト
キハ直ニ之ヲ沒收スルノ訂約ヲ為スモノ等アリテ種々

(4)

一樣ナラス其委託販賣ヲ為スニ當テハ先ツ現品積載ノ
時ニ於テ幾分ノ為換ヲ受ケ殘存ノ金額ハ販賣ヲ了ルノ後
精算ヲ遂クルヲ常トセリ尤モ委託人ニ於テハ主務
省ニ對シ何年月ヨリ何年月ニ至ルノ間何國何船ヲ
借り某國某港へ委託販賣ヲ為スノ旨ヲ稟申シ許可
ヲ待テ後実行スルモノトス

八、材木賣込ノ手續ハ普通他ノ商品ト異ルコ
トナシ若シ數日ヲ要セサレハ物品ノ受渡ヲ為ス能ハ
サル場合ニハ期日ヲ確定シ賣主ヨリ契約書ヲ提供
シ買主ハ手付金トシテ賣買代價ノ一割内外ヲ支拂
ワテ例トス而シテ買主若シ取引上違約アリタルトハ
賣主ハ其手付金ヲ沒收シ賣主違約シタルトキハ其
手付金ニ二倍シテ之ヲ償フノ慣例ナリ之ニ反シ

相互信用ヲ厚クスル場合ハ右等ノ煩ナク普通ノ賣買ニ
止マルコトアリ此ノ如ク凡ノ三般ノ區別アリト雖モ初
メ見本ヲ示シテ價格ヲ定メ後物品ヲ渡シテ代價ヲ領スル
ノ順序ハ右同ノモノトス

九、燐寸軸木賣込ノ手續 是亦他ノ商品ト異ナリ

トテク其物品ヲ汽船ニ積込タル後代金ヲ押テ受クルヲ常
トス但積込ノ降運搬ニ係ル費用ハ神戸税関ニ至ル迄ヲ製
造人ニ付テ負担スルモノトス尤モ軸木ニ檜ニ本分軸、檜
一本半軸、ホス軸ノ三種アリテ孰レモ黃燐マツキニ用ユ
ル原料ニ過キワルヲ以テ海外ニ輸出スルモノハ實ニ僅々
リトス
以上述フル所ハ商品賣込ノ手續ナリト雖モ輸入品取扱ノ手
續ハ之ト同一ニ論スヘカラワルモアリ以上サシク之ヲ陳ヘシ

(分)

輸入品取扱ノ手續慣例ハ貨物ノ品類若クハ相互
ノ約束上多少ノ異同アリト雖モ一括シテ其概要ヲ掲ク
レハ左ノ如シ

第一、輸入品賣買ニ二種アリ一ラ現品賣買ト稱シ
居留地商館ニ貯藏スル現品ヲ取引スルモノヲ云ヒ一ハ
先キ物ト唱ヘ居留地商館ノ手ヲ經由シ本國製造場又ハ
商店ニ注文スルモノヲ云フ尤モ稀ニハ直輸ノモノナキ
ニ非ヤルモ船積ノ便荷為替ノ利ハ未タ外人ニ及ハワル
ヲ以テ多クハ外商ノ手ヲ經テ輸入スルニ至レリ独リ印
度地方ノ棉花ニ至テハ日本郵船会社ハ航路ヲ開始シタ
ル以來概テ外商ノ手ヲ借ルモノナシト云フ
第二、凡テ物品賣買ノ約成リタルトキハ我商人ハ
先ツ其物品ニ對スル代金ヲ其商館ノ番頭ニ支拂ヒ館主

ノ藏出し証書ヲ受ケ始メテ其倉庫ニ付キ証書ト引替ハ
ニ其物品ヲ受取ルモノニシテ所謂先キ錢ニ非サレハ賣
買ヲ許サ・ルヲ普通ノ例ト爲コリ
之ニ及シ我カ彼ニ對シテ物品ヲ賣渡ス場合ニ於テハ只
唯々諾々彼ノ言フ所ニ從ヒ實ニ見聞ニ堪ハサレハ只
テアリ商權ノ振ハサル斯ノ如クトモハ屈辱モ亦甚シト
云ハサレラ得ス

第三 輸入ノ物品(所謂先キ物)若シ注文ニ相違ニ取
引上紛議ヲ生シタル場合ニ於テハ我商人ハ居留地外國
商人ノ中ニ就キ相互信用スハキ仲裁ヲ撰ニ(若シ英商館
ニ係ルトキハ必ス美國人ヲ仲裁人ト爲スト云フ)其裁断
ニ一任シ當事者双方ハ其仲裁者ニ對シ不服ヲ訴フル
ヲ許サス但仲裁者ハ其裁断ヲ下シタル顛末理由書ヲ作

(6)

リ之ヲ其領事ニ示シ領事ハ之ニ証明ノ印ヲ押捺シ
當事者ニ交付ス而シテ商館ハ此証明書ヲ本國
製造場若リハ商店ニ送付スレハ製造場若リハ
商店ハ直ニ其裁断ヲ履行シ不服ヲ訴フル
ヲ許サスト云ヘリ但其物品注文ノ品質ト大
ニ相違スル場合ノ如キハ相互示談ノ上解約
シテ仲裁ヲ煩ハサスト云フ

(七) 大阪府下ニ於テ輸出入貿易ニ從事
スル者ノ間ニ行ハル、商慣習及商
品賣買ノ手續

大阪ト神戸港トノ關係ハ猶ホ東京ト横濱港
トノ關係ノ如シ東京ノ商工業盛ナルモ外國貿
易ニ於テハ横濱港ヲ經由セサルハカラサルカ如ク

大阪ニ於ケル商工業ハ全國ニ冠タリト雖モ港内水浅クシテ大船巨船ノ碇泊ニ適セス故ニ大阪生産ノ貨物ヲ輸出シ若クハ外國生産ノ貨物ノ大阪ニ供給セララル、ニ當テハ神戸港ヲ經由スルモノ夥多ナルノ觀アリ故ニ神戸貿易業者ト大阪商工業ハ極メラ密接ナル關係ヲ有シ且ツ互ニ氣脈ヲ通シテ兩者ノ間敢テ劃然タル境界アルヲ見ス故ニ大阪ニ於テ輸出入業ニ從事スルモノ、間ニ行ハル、商慣習及商品賣買ノ手續ハ神戸ト殆ト同一ナリト云フモ不可ナカルヘシ尤モ之ヲ西地商業會議所ニ質シタルニ何レモ大同ト異ナリト断言セリ

2)

(丙) 神奈川縣下ニ於テ輸出入業ニ從事スル者ノ間ニ行ハル、商慣習及商品賣買ノ手續

神奈川縣下ニ於ケル本項ノ商慣習及商品賣買ノ手續ハ大阪神戸等ノモノニ比シ大ナル差異ハ之レナカルヘシト望モ亦多少異ニスル所ロナクニハアラス然レトモ如何セシ之ヲ取調上必要ナル機關タル横浜商業會議所ハ漸ク本年夏期ノ設置ニ係リ同地ノ経済的情况ニ關シテハ未タ何等ノ調査ヲモ遂ケタルコトナシト云フ故ニ当地貿易業者ノ習慣若クハ商品賣買ノ手續ニ關スル特種ノ点ノ如キハ未タ之ヲ知ルニ由ナク唯同會議所ニ向テ小官ヨリ其調査ノ必要ナルヲ促スニ止メルノミ

尚茲ニ聊カ倉庫ニ関スル慣習ニ付キ以下少シク陳述シ
以テ復命書ノ補欠ト爲サント欲ス

夫レ倉庫ノ利用ハ元來貨物保管預ヲ主トスルモ
ノナルニ横濱市從來ノ慣習ハ單ニ貸庫ナリヲ以テ貸
主未ク深ク保管預ノ便利ヲ知ラズル者尠ニト云フ
故ニ當市中央倉庫会社ノ如キ本年上半期ニ於テハ
貸庫ヲ望ム者多カリシト雖モ貸主ニシテ能ク保管
預リノ便利ヲ覺知シ且ツ当社ノ信用愈々厚キヲ加
フルニ隨ヒ貸庫ハ減シテ保管貨物倍々増加スル
ニ至ルヘキハ勢當サニ然ルヘキナリ

又横濱ニハ倉庫会社ノ他ニ貿易商仲間ノ倉庫(貿
易倉庫モ其一ナリ)ニ関スル一種ノ組合アリ此組合ハ

各自皆概シテ倉庫ヲ所持シ各自已レノ倉庫ニ已レノ貨物
ヲ貯藏シ一種ノ保管證書(別表ヲ二号参照)ヲ製出シ
之ヲ以テ正金銀行ニ融通ヲ請ヒ以テ他人ノ貨物ヲ自
己ノ倉庫ニ貯藏セルカ如ク外装ヲ定メ慣習アリ尚
此高取引ノ煩苛ヲ續ク再言ストハ先ツ荷主兼庫主
別紙ヲ一号表即チ荷主換抵當荷物保管預リ証ヲ
製シテ正金銀行ニ荷主換ヲ組ミ以テ自ラ賣主ナルカ如
キ外装ヲ定メ又第二号表即チ荷物保管預リ証
ヲ調製シテ先キニ資金融通ノ担保トナシタル荷主
換抵當荷物保管預リ証ニ代ヘ以テ庫主ナルノ場
合ニ擬ス而シテ期限ニ至ルハ更ニ第三号表即チ借

用金借書(但ニ担保品付)ニ引替上ルモノトス要スルニ
右ハ貨物賣込道一時資金ニ融通スルモノナリト認ム
而シテ元来此慣習ハ其端ノ居留地商會ヲ創リテ所ナ
ルモ外商ノニ此點許的融通ヲ出スル不可ナルヲ察
シ近來内國商ニモ亦此假設ノ行為ヲ點許セリト云フ
惟テニ斯ル奇態ノ慣習ハ素ト倉庫会社ノ設置ヲキ
時代ニ起リシモノニシテ俄カニ之ヲ打破スルコト雖ル
困難ナルハク強テ之ヲ打破セシト欲セバ後ヲニ貿易商
人ヲシテ困窮ニ陥ラシムルモノニシテ却テ不測ノ弊害
ヲ生セニ然レトモ今後中央倉庫会社ニシテ其業ヲ以テ
擴張スルカ若クハ新ニ規模廣大ニシテ基礎又堅固
牢ナル一大倉庫会社ヲ建設シ以テ盛ニニ貨物保管

預リヲ為スニ至ラハ彼カ如キ見戲ニ類スルノ慣習ハ
自然ノ勢トシテ漸次撲滅スルヲ得ヘシト認ム

